令和２年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

事 業 体 系

Ⅰ. 事業計画の概要 ・・・

Ⅰ． 令和2年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩地域で暮らす人々に美術や歴史に親しんでいただくこと、そして創作・研究をする方々の支援をすることを使命とし、事業を計画、実施しています。

令和2年度は、当財団にとってステップアップ・転換の年となります。5月に開館する「たましん美術館」（多摩信用金庫新本店・本部棟1階）は、これまで永年にわたり継続してきた地域文化振興への貢献の具現化であり、また、次世代への文化・芸術の伝播・集合拠点ともなり得ると考えます。歴史事業においてもここ数年進めてきた『多摩のあゆみ』や所蔵資料のデジタルアーカイブ化を推進するなど、公益財団法人としての使命を果たすために事業の拡充を図ります。

公1（美術館・ギャラリーの運営事業）では、新たに「たましん美術館」（立川市北口みどり地区）での事業を開始します。幕開けとして、多摩信用金庫と当財団が長年にわたり大切にしてきた「たましんコレクション」の展覧会を実施します。これと並行して2年後の他館等所蔵作品による展覧会開催を見据えての準備や、「たましん歴史・美術館」の今後の取組みについて検討します。

公2（『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業）では、事業の柱である『多摩のあゆみ』の定例の刊行に加え、デジタルアーカイブの一層の充実を図るため、令和元年度の『多摩のあゆみ』バックナンバーの 101～120 号までの追加に続き、連載にあわせた赤色立体地図、当財団所蔵資料である「絵葉書」約 3,000 点や地図・チラシを公開します。

また、地域との連携を重視し、公1事業では、ファーレ立川アートや GREEN SPRINGS（グリーンスプリングス）など「たましん美術館」「たましん歴史・美術館」周辺との協力、学校や自治体との交流、支援等を強化。公2事業においても、国文学研究資料館をはじめ、東京都立多摩図書館や東京都公文書館などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。

公益法人として皆さまのご期待に応えていくことが地域における存在意義であると強く認識し、多摩地域の文化・芸術の発展・振興に貢献できるよう努めていきます。

Ⅱ．公益目的事業

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1．美術館・ギャラリーの運営事業（以下「美術」という。）

公2．『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（以下「歴史」という。）

1． 美術 （公 1）

（1） 企画展覧会

① たましん美術館

令和2年5月 18 日（月）に開館し、令和2年度は3会期の美術展を開催します。

1）「開館記念展Ⅰ たまびらき －たましんの日本近代美術コレクション－」
5月 18 日（月）～8月 23 日（日） 開館日数 81 日 （前期・後期）

2）「開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 －コレクションでたどる東洋のこころ－」
9月5日（土）～11 月 15 日（日） 開館日数 62 日

3）「開館記念展Ⅲ　多摩の作家シリーズ　vol.1　多摩の“今”」
11 月 28 日（土）～令和3年4月 18 日（日）　開館日数 104 日　（1期～4期）

「たましん美術館」は新築建物内にあるため、美術品に有害なガスの発生を想定しています。文化庁ではそれが消えるまで、一定の「枯らし期間」を必須としています。当館ではその間は作品への影響に十分に配慮を行いながら「たましんコレクション」にて展覧会を行います。

② たましん歴史・美術館
令和2年度は、2会期の美術展を開催します。
1）「たましんコレクション展Ⅰ」　7月 11 日（土）～12 月 13 日（日）　開館期間 132 日
2）「たましんコレクション展Ⅱ」　令和3年1月9日（土）～5月9日（日　開館期間 101 日
なお、6月 28 日（日）までは「たましんコレクション展　一線からはじまる。」を継続開催します。

③ たましん本店2階ギャラリー
たましん本店2階に設置されるギャラリーの展示について当財団が支援します。地域貢献スペースとして、多摩地域の美術大学学生作品等の若手作家作品の展示を計画しています。

（2） 調査・研究・収集・保存

① 次年度展覧会の準備
「たましん美術館」および「たましん歴史・美術館」の次年度に開催する展覧会の準備を行います。「たましん美術館」については次年度も「枯らし期間」となります。また合わせて、令和4年度開催展覧会の企画・調査を実施します。

② 作家研究・データベース構築
倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域で活動してきた作家の調査・研究を行うとともに、データベースを構築し、以下のような将来の展覧会開催時の基礎データとします。
・松村健三郎、小貫政之助等の多摩の作家
・次世代展（多摩地域を拠点とする4美術大学の卒業生や若手作家等）

③ 資料の収集
多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を継続的に収集します。

④ 作品収集の検討
美術館として必須事項である作品収集について検討します。

⑤ 作品の修復及び額新装
展覧会での展示にあわせ、作品の額新装、マット新装を行います。また修復が必要な作品については、専門業者による作品修復の実施について検討します。

⑥ 資料保存環境の整備

資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財 IPM（総合的有害生物管理）による定期的な害虫測定を行います。また定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。

⑦ 所蔵作品のフィルムデータの整備

令和元年度に引き続き、所蔵美術品のデジタルアーカイブ化を進めます。

⑧ 美術図書資料

収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。

(3) 美術講座・美術教育

各展覧会の開催に当っては、入館者に作品に親しみ、理解を深め、愉しんでもらうことを目的に、作品解説や、イベントを実施します。

① ギャラリートークの開催（たましん美術館）

1） 開館記念展Ⅰ たまびらき －たましんの日本近代美術コレクション－
5月 30 日（土）、7月 18 日（土） 各回 14:00～
・担当学芸員齊藤全人が展示作品の解説を行います。

2） 開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 －コレクションでたどる東洋のこころ－
9月 19 日（土）、11 月7日（土） 各回 14:00～
・担当学芸員藤森梨衣が展示作品の解説を行います。

3） 開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”
12 月 20 日（日）、令和3年1月 31 日（日）、3月7日（日）、4月 11 日（日）
各回 14:00～
・担当学芸員杉本藍が展示作品の解説を行います。

② トークイベント、体験型イベント

1） 開館記念展Ⅰ たまびらき －たましんの日本近代美術コレクション－

ア） トークセッション「多摩の館長座談会」（仮題）
登壇者：藪野健氏（府中市美術館館長）ほか、多摩地域の美術館の館長を予定

イ） ワークショップ「〈○○賞〉を作っちゃおう！」 幼児・親子～小学生向けイベント
8月に2回開催予定

2） 開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 －コレクションでたどる東洋のこころ－

ア） 講演会「やきものの歴史」（仮題）
10 月開催を予定

イ） ワークショップ「マイカップ作り」
10 月開催を予定

3） 開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”

ア） トークイベント「作家と語る」
12 月、令和3年1月、2月、3月の4回開催を予定

(4) 地域との連携

① 学校との連携

1) 地域の小中学校との連携

平成 30 年度より実施している作品鑑賞のアウトリーチ事業を行います。

・計 10 回(5校×2回)を予定

・多摩地域の小・中学校を募集の対象とする

2) 美術大学との連携

ア) 多摩地域の美術大学の学生に対し、美術館運営の体験機会提供を目的に、当財団の教育普及事業の補助のお手伝いをいただきます。

イ) 地域の美術大学との人的交流を通して、将来の連携企画等へ繋げていきます。

② たましん美術館周辺地区との連携

立川駅北口エリアをアートの楽しめる地域として、皆さまに楽しんでいただき、また「賑わいの創造」へと繋げるため、周辺地域との交流を図り、様々な連携企画を実施していきます。

1) GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)との連携

2) ファーレ立川アートとの連携

3) 国営昭和記念公園との連携

4) 国文学研究資料館との連携

③ たましん歴史・美術館周辺地域との連携

1) 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、令和2年度は東京五輪 2020 の開催にあわせ「西洋文明とオリンピックのルーツ:古代ギリシャの美術と文化」と題して3回の講座を予定しています。

第1回　6月 24 日(水)「エーゲ海文明の曙」

第2回　7月1日(水)「アルカイック時代とオリンピック」

第3回　7月8日(水)「クラッシック時代とヘレニズム時代」

講師　斎藤陽一氏(元NHKプロデューサー、美術ジャーナリスト、美術史学会会員)

会場　くにたち市民芸術小ホール

募集人員　毎回 75 名(延べ 225 名)

受講料　無料

④ 多摩地域内美術館との連携

府中市美術館、八王子市夢美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、町田国際版画美術館等の多摩地域にある美術館との交流を図り、連携企画や将来の当館展示企画への支援等に繋げていきます。

⑤ 他地域の美術館との対外交流

小規模館を中心に全国の美術館と交流し、将来の巡回展、共催展等に繋げていきます。

(5) 広報・普及活動

① 広報活動の実施・広報手段の拡充

たましん美術館の開館を契機として、財団ホームページの再構築を行い、展覧会情報等の公開の有効性を高めていきます。

また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビおよび新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を引き続き積極的に行います。

② 配布先の検証

今年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とはせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。

2. 歴史 （公 2）

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記に示す通り、各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたり地域の研究者による調査・研究の成果を掲載します。

178 号 「多摩の歴史アーカイブ」（仮題）	5月 15 日発行
179 号 「旧石器時代から縄文時代へ」（仮題）	8月 15 日発行
180 号 「現代の祭りとコミュニティ」（仮題）	11 月 15 日発行
181 号 「多摩の魚類」（仮題）	令和3年2月 15 日発行

各号 13,000 部を発行し、歴史資料室・財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望者には定期送付します。また、多摩地域 30 市町村の公立図書館・博物館等に贈呈しており、これらの機関でも閲覧できるようにしています。

(2) 刊行物の発行

①中島陟（のぼる）文書資料の刊行

越沢明北海道大学名誉教授監修のもと、佐藤収一氏（株式会社サトウ会長）が所蔵している中島陟文書資料を刊行物として発行します。

書名：『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市－常務取締役中島陟文書より－』

(3)歴史資料室の運営

① 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

(4) 多摩の歴史講座

① 第 24 回 「多摩の歴史講座」

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。令和2年度で 24 回目を迎え、テーマとして「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」を予定しています。

会場は昨年同様、多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100 名を募集します。

受講料は無料です。

② 記念講演会の開催

たましん美術館の開館と『多摩のあゆみ』178 号の発行にあわせて、記念講演会を開催します。

講師：ロバート・キャンベル氏（国文学研究資料館館長）

会場：多摩信用金庫本店内会議室（予定）

定員：200 名

受講料：無料

(5) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館、東京都立多摩図書館や東京都公文書館との連携を深めるとともに、各市の市史編さん事業等への協力を通じて行政各機関とのネットワークを強化していきます。

(6) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』に連載している「多摩の金融史」は 177 号で 11 回目の掲載となりました。多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団より学術研究助成を受けたことから、資料整理体制を整えて、多摩信用金庫（旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫）の資料整理、分析を更に進めます。

(7) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の（公財）東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

本件は、公益財団法人図書館振興財団の助成金事業となったことから、『多摩のあゆみ』に連載中の赤色立体地図画像、歴史資料室所蔵の地図やチラシ 22 点、絵葉書 3,000 余点を順次デジタルアーカイブにて公開します。

Ⅲ． 収益目的事業

1． 物品販売事業及び喫茶事業 （収1）

(1) 物品販売事業

たましん美術館に併設するミュージアムショップにて、絵葉書やクリアファイル等の当美術館オリジナルグッズ、また地域との繋がりを大切にし、館周辺地域など多摩地域のお土産品を販売します。

Ⅳ. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第9号）

(1) 理事、監事及び評議員の任期

① 評議員　平成 28 年6月 17 日から就任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

② 理事　平成 30 年6月 19 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

③ 監事　平成 30 年6月 19 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

本年度6月開催の定時評議員会にて、評議員、理事、監事、全員が改選となります。

(2) 理事会等の開催

① 理事会　年3回

② 評議員会　年2回

③ 決算監査　年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1．美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

（定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（予算額　12,775　千円）

（1）企画展覧会

①たましん美術館

計画事業通し番号	計画				計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	（千円）
1	開館記念展Ⅰ　たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション―	自主	令和2年5月18日（月） ～8月23日（日） ※前期・後期	81	新美術館の幕開けを飾る開館記念展では、たましんコレクションの中から選りすぐった日本近代（明治、大正、昭和）の洋画・彫刻の名品を展示します。 明治美術会、白馬会、白樺派や草土社、中村屋サロン、二科会や独立美術協会などの作家たちの作品を集め、新美術館の上質な展示空間で、日本近代美術史の豊かな流れを味わう展覧会を開催します。	7,365
2	開館記念展Ⅱ　東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～	自主	9月 5日（土） ～11月15日（日）	62	開館記念展Ⅱとして、所蔵品の柱のひとつである東洋古陶磁のコレクションを紹介します。 中国・朝鮮・日本の陶磁史を通観しうるよう構成されている当コレクションは、地域の皆さまに、気軽に陶磁器の歴史をご覧いただけるようにとの思いで収集してきました。 本展では、中国の景徳鎮、朝鮮の李朝、日本の伊万里に代表されるように、悠久の時をこえ人々を魅了してきた名品の数々をご覧いただきます。	
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズvol.1 多摩の“今”	自主	11月28日（土）～ 令和3年4月18日（日） 1期：11月28日（土） ～12月27日（日） ※12月28日（月）～1月8日（金）は年末年始展示替えのため休館 2期：令和3年 1月9日（土） ～2月7日（日） 3期：2月13日（土） ～3月14日（日） 4期：3月20日（土） ～4月18日（日）	104	「多摩の作家」シリーズの第1弾となる展覧会です。 「多摩の“今”」をテーマに、多摩地域に在住し、活動している作家たちの作品を紹介します。 各作家の作品は、「たましんコレクション」（たましんギャラリーで展示された作品）と、最新作を並べて展示し、多摩信用金庫が1974年から45年間運営してきたたましんギャラリーの歩み、そして地域文化への貢献という果たした役割の大きさを浮き彫りにしていきます。	

②たましん歴史・美術館

計画事業通し番号	計画				計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	（千円）
1	たましんコレクション展Ⅰ	自主	7月11日（土） ～12月13日（日）	132	たましんコレクションから、特定のテーマを設けて絵画、彫刻、工芸などを幅広く紹介する展覧会を開催します。	3,200
2	たましんコレクション展Ⅱ	自主	令和3年1月9日（火） ～5月9日（日）	101	たましんコレクションから、特定のテーマを設けて絵画、彫刻、工芸などを幅広く紹介する展覧会を開催します。	

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業通し番号	計画			計画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階ギャラリー活動の支援	共催	通年	たましん新本店2階ギャラリーの展示活動を支援する。具体的には令和2年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行う。展示備品、消耗品、印刷などの費用に関してはたましんが負担する。

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	次年度展覧会の準備	自主	通年	令和3年度にたましん美術館およびたましん歴史・美術館で行う展覧会の計画を立て、その企画に応じた作品・資料調査をすすめます。	790
2	作家研究・データベース構築			たましんの美術事業に当初から貢献していただいていた作家、倉田三郎、関頑亭、佐藤多持を中心に多摩で活躍してきた作家の調査・研究を行います。作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用します。特に松村健三郎、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催に向け、調査・研究を進めます。さらに、次世代展の準備や公募展の検討として、多摩地域を拠点とした4美術大学(多摩美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学)の卒業生等、若手作家を調査します。	
3	資料の収集			倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集します。	
4	作品収集の検討			美術館の発展のために作品の収集を持続的に行っていくため、収集方法(購入・寄贈)、対象とする作家、作品の基準、選定委員の発足などについて検討します。	
5	作品の修復及び額新装			展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復について検討します。今年度は、平成30年、令和元年度に寄贈を受けた小貫政之助の作品、および劣化の恐れのある遠藤彰子の作品などを検討しています。	
6	資料保存環境の整備			資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM資料(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。	
7	所蔵作品のフィルムデータの整備			前年度に所蔵作品ポジフィルムの整備を完了し近代洋画・工芸についてのデジタル化・新規撮影を行いました。今年度も引き続き、所蔵品目録の作成、他所蔵品の所蔵品のデジタルアーカイブを進めます。	
8	美術図書資料			収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。	

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業通し番号	計画 事業名	自主・共催	実施期間	計画 事業内容及び説明	予算額（千円）
1	開館記念展Ⅰ　たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション―	自主	5月30日(土)、7月18日(土) 各回　14:00～	「開館記念展Ⅰ　たまびらき―たましんの日本近代美術コレクション―」の関連事業。 担当学芸員 齊藤全人が展示作品の解説を行います。	190
2	開館記念展Ⅱ　東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～	自主	9月19日(土)、11月7日(土) 各回　14:00～	「開館記念展Ⅱ　東洋古陶磁展～コレクションでたどる東洋のこころ～」の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行います。	
3	開館記念展Ⅲ　多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”	自主	12月20日(日)、令和3年1月17日(日) 3月7日(日)、4月11日(日) 各回　14:00～	「開館記念展Ⅲ　多摩の作家シリーズvol.1 多摩の“今”」の関連事業。 担当学芸員 杉本藍が展示作品の解説を行います。	
②トークイベント、体験型イベント					
1	開館記念展Ⅰ　たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション― 関連イベント	自主	5月	トークセッション「多摩の館長座談会」(仮題) 登壇者： 藪野健氏(府中市美術館館長)ほか、多摩地域の美術館館長を予定。	
			8月　2回	ワークショップ 「〈○○賞〉をつくっちゃおう！」幼児・親子～小学生向けイベント	
2	開館記念展Ⅱ　東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～ 関連イベント	自主	10月	講演会「やきものの歴史」(仮題)	
			10月	ワークショップ　マイカップ作り	
3	開館記念展Ⅲ　多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今” 関連イベント	自主	11月	トークイベント「作家と語る」	
			12月	トークイベント「作家と語る」	
			令和3年1月	トークイベント「作家と語る」	
			3月	トークイベント「作家と語る」	

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業通し番号	計画 事業名	自主・共催	実施期間	計画 事業内容及び説明	予算額（千円）
1	地域の小中学校との連携	自主	通年	平成30年度より実験的に実施している作品鑑賞のアウトリーチ・インリーチ事業を継続して行います。令和2年度は、多摩地区の小・中学校(688校)へ募集を行い実施します。(5校×2回=計10回)	290
2	美術大学との連携	自主	通年	多摩地域の大学の学生に、美術館運営事業の機会を提供することを目的に、当財団の教育普及事業に係る補助に関わっていただきます。 地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へと繋げていきます。各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。	

② たましん美術館周辺地区との連携

1	GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)との連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。
2	ファーレ立川アートとの連携			
3	国営昭和記念公園との連携			
4	国文学研究資料館との連携			

③ たましん歴史・美術館周辺地区との連携

1	美術講演会	共催	第1回 6月24日(水) 第2回 7月1日(水) 第3回 7月8日(水)	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、全3回講演を予定しています。 講演名：「2020年「東京オリンピック」関連企画 ≪西洋文明とオリンピックのルーツ：古代ギリシャの美術と文化≫」 第1回 「古代ギリシャの美術と文化(1)～エーゲ海文明の曙～」 第2回 「古代ギリシャの美術と文化(2)～アルカイック時代とオリンピック～」 第3回 「古代ギリシャの美術と文化(3)～クラッシック時代とヘレニズム時代～」 講師：斎藤陽一氏 (元NHKプロデューサー、美術ジャーナリスト、美術史学会会員) 会場：くにたち市民芸術小ホール 募集人員：各回75名(延べ225名) 受講料：無料	100

④ 多摩地域内美術館との連携

1	多摩地域内美術館との連携	自主	通年	たましん美術館は、府中市美術館、八王子市夢美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、東京富士美術館など多摩地域内の美術館との交流を図り、将来的な展示企画へ繋げていきます。

⑤ 他地区美術館との対外交流

1	多摩地域外の美術館との交流	自主	通年	多摩地区外の全国の美術館の内、たましん美術館と規模を同じくする小規模美術館を中心に交流を図り、将来的な巡回展、共催展などに繋げていきます。

(5)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。 また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。	840
2	配布先の検証	自主	通年	令和2年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。	

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

（定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（予算額　18,990　千円）

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	178号「多摩の歴史アーカイブズ」（仮題）	自主	5月	国文学研究資料館が主催した平成30年度の連続講座をもとに、同館が所蔵している多摩地域にかかわる歴史アーカイブズ（古文書）を、さまざまな視点から紹介します。本特集は、多摩信用金庫の本店移転及び新美術館の開館にあわせて、国文学研究資料館と多摩信用金庫の連携協定をふまえて企画しました。	10,015
2	179号「旧石器時代から縄文時代へ」（仮題）	自主	8月	旧石器時代から縄文時代への移行期について、国重要文化財のあきる野市前田耕地遺跡の出土品をベースに、気候・植生や石器の使用、土器の出現等の視点から解説します。令和元年度の多摩の歴史講座「旧石器時代から縄文時代」をもとにした特集です。	
3	180号「現代の祭りとコミュニティ」（仮題）	自主	11月	従来の親族組織や地縁組織の関係が希薄化するなか、転居してきた住民も参加しやすい祭りが各地で盛んに行われています。祭礼における「獅子舞」「囃子」「神輿」などを通して、各地の祭りとコニュニティの様相を取り上げます。	
4	181号「多摩の魚類」（仮題）	自主	令和3年2月	多摩川などの河川だけでなく、用水や湖沼、田地、湧水など、様々な水環境に生息する魚をはじめとする水生生物の生態を紹介し、環境の移り変わりや人々と生活とのかかわり、生物とのふれあいについて考えます。	

(2)刊行物の発行

計画事業通し番号	計画			計画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	中島陟文書資料集の刊行	共催	通年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏（株式会社サトウ会長）が所蔵している中島陟（のぼる）文書資料を刊行物として発行します。 協力者：渡辺彰子氏 書　名：『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市―常務取締役中島陟文書より―』（仮題）

(3)歴史資料室の運営

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	2,680

(4)多摩の歴史講座

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。24回目を迎えた令和2年度は、テーマとして「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」(仮題)を予定しています。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室 定員：100名 受講料：無料	355
2	記念講演会	自主	6月(予定)	新美術館の開館と『多摩のあゆみ』178号の発行にあわせて、記念講演会を開催します。 講　師：ロバート・キャンベル氏(国文学研究資料館館長) 会　場：多摩信用金庫本店内会議室(未定) 受講料：無料	

(5)地域とのネットワーク強化

計画事業通し番号	計画			計画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。

(6)「多摩金融史」関係資料の整理

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、11回目まで掲載してきました。また、記述内容に関する個人情報のガイドラインを多摩信用金庫と協議しました。 多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団より受けた学術研究助成によって、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影は順調に進捗して、関係資料の分析をさらに進めます。	150

(7)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』などで告知します。	200
2	歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	公益財団法人図書館振興財団より令和元年度提案型助成事業の助成を受けたことにより、『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や、歴史資料室所蔵の地図とチラシ22点、絵葉書3,000余点を、順次デジタルアーカイブで公開していきます。	5,570

収益目的事業

3．物品販売事業及び喫茶事業（収1）

（定款第4条第1項第9号）

（予算額　　1,220千円）

（1）物品販売事業

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 たましんミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	1,220

令和２年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和2年度収支予算書（正味財産増減ベース）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

（単位：円）

科　目	令和2年度予算額（イ）	公益目的事業会計（内訳表）				収益事業等会計		法人会計	令和1年度予算額（ロ）	増減（イ）－（ロ）
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	1,890,000	2,710,000
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0		1,890,000	2,710,000
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	390,000	△ 390,000
固定資産受贈益	0	0			0	0	0		390,000	△ 390,000
事業収益	6,700,000	3,650,000	50,000	0	3,700,000	3,000,000	3,000,000	0	3,320,000	3,380,000
入館料収益	3,550,000	3,550,000			3,550,000		0		1,500,000	2,050,000
図録販売収益	100,000	100,000			100,000		0		1,500,000	△ 1,400,000
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
喫茶事業収益	0				0	0	0		70,000	△ 70,000
物品販売収益	3,000,000				0	3,000,000	3,000,000		200,000	2,800,000
受取補助金等	4,820,000	0	4,820,000	0	4,820,000					
受取民間助成金	4,820,000		4,820,000		4,820,000					
受取寄付金	65,000,000	1,000,000	0	62,000,000	63,000,000	0	0	2,000,000	61,000,000	4,000,000
受取寄付金	65,000,000	1,000,000		62,000,000	63,000,000		0	2,000,000	61,000,000	4,000,000
雑収益	140,000	0	0	40,000	40,000	0	0	100,000	140,000	0
雑収益	140,000			40,000	40,000		0	100,000	140,000	0
経常収益計(A)	81,270,000	4,650,000	4,870,000	66,650,000	76,170,000	3,000,000	3,000,000	2,100,000	66,750,000	14,520,000
（2）経常費用										
事業費/管理費（法人会計）	83,540,000	42,430,000	33,840,000	0	76,270,000	2,500,000	2,500,000	4,770,000	68,150,000	15,390,000
売上原価	210,000	70,000	40,000	0	110,000	100,000	100,000	0	1,070,000	△ 860,000
役員報酬	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	550,000	50,000
給料手当	23,170,000	13,540,000	9,150,000	0	22,690,000	0	0	480,000	19,430,000	3,740,000
臨時雇賃金	7,000,000	4,560,000	1,840,000	0	6,400,000	600,000	600,000	0	8,110,000	△ 1,110,000
賞与引当金繰入	1,540,000	1,080,000	460,000	0	1,540,000	0	0	0	1,050,000	490,000
退職給付費用	550,000	260,000	290,000	0	550,000	0	0	0	510,000	40,000
法定福利費	4,200,000	2,470,000	1,650,000	0	4,120,000	0	0	80,000	3,410,000	790,000
福利厚生費	280,000	140,000	80,000	0	220,000	20,000	20,000	40,000	250,000	30,000
旅費交通費	1,620,000	1,170,000	350,000	0	1,520,000	0	0	100,000	1,460,000	160,000
通信運搬費	3,530,000	1,550,000	1,390,000	0	2,940,000	70,000	70,000	520,000	2,480,000	1,050,000
減価償却費	780,000	340,000	150,000	0	490,000	210,000	210,000	80,000	920,000	△ 140,000
消耗什器備品費	330,000	0	200,000	0	200,000	30,000	30,000	100,000	890,000	△ 560,000
消耗品費	1,450,000	780,000	390,000	0	1,170,000	70,000	70,000	210,000	1,110,000	340,000
修繕費	120,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	10,000	120,000	0
印刷製本費	11,900,000	3,550,000	8,050,000	0	11,600,000	150,000	150,000	150,000	9,120,000	2,780,000
燃料費	60,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	10,000	80,000	△ 20,000
光熱水料費	2,240,000	1,860,000	210,000	0	2,070,000	60,000	60,000	110,000	1,540,000	700,000
賃借料	2,210,000	1,330,000	360,000	0	1,690,000	160,000	160,000	360,000	2,180,000	30,000
保険料	970,000	940,000	20,000	0	960,000	0	0	10,000	1,060,000	△ 90,000
諸謝金	1,180,000	180,000	1,000,000	0	1,180,000	0	0	0	1,050,000	130,000
保守管理費	2,020,000	1,640,000	210,000	0	1,850,000	60,000	60,000	110,000	1,030,000	990,000
会議費	560,000	80,000	130,000	0	210,000	0	0	350,000	580,000	△ 20,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	300,000	90,000	200,000	0	290,000	0	0	10,000	460,000	△ 160,000
委託費	14,640,000	6,250,000	7,400,000	0	13,650,000	170,000	170,000	820,000	8,440,000	6,200,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	80,000	0
宣伝費	200,000	200,000	0	0	200,000	0	0	0	10,000	190,000
仕入費	800,000	0	0	0	0	800,000	800,000	0	80,000	720,000
諸会費	650,000	80,000	200,000	0	280,000	0	0	370,000	720,000	△ 70,000
交際費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	40,000	20,000	10,000	0	30,000	0	0	10,000	50,000	△ 10,000
経常費用計(B)	83,540,000	42,430,000	33,840,000	0	76,270,000	2,500,000	2,500,000	4,770,000	68,150,000	15,390,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 2,270,000	△ 37,780,000	△ 28,970,000	66,650,000	△ 100,000	500,000	500,000	△ 2,670,000	△ 1,400,000	△ 870,000
2．経常外増減の部	0									0
（1）経常外収益	0									0
経常外収益計（C）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用	0									0
経常外費用計（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部（C）－（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	174,305	174,305	△ 174,305	△ 174,305	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,270,000	△ 37,780,000	△ 28,970,000	66,824,305	74,305	325,695	325,695	△ 2,670,000	△ 1,400,000	△ 870,000
一般正味財産期首残高	43,466,226	△ 214,633,348	△ 232,869,151	482,030,461	34,527,962	1,880,016	1,880,016	7,058,248	49,811,337	△ 6,345,111
一般正味財産期末残高（E）	41,196,226	△ 252,413,348	△ 261,839,151	548,854,766	34,602,267	2,205,711	2,205,711	4,388,248	48,411,337	△ 7,215,111
Ⅱ　指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 390,000	390,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 390,000	390,000
指定正味財産期首残高	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	844,255,914	△ 382,978
指定正味財産期末残高（F）	843,872,936	542,393,646	0	300,000,000	842,393,646	1,479,290	1,479,290	0	843,865,914	7,022
Ⅲ　正味財産期末残高(E)+(F)	885,069,162	289,980,298	△ 261,839,151	848,854,766	876,995,913	3,685,001	3,685,001	4,388,248	893,883,239	△ 8,814,077

令和2年度

事　業　報　告　書

公益財団法人たましん地域文化財団

目　　次

1. 事業の概要 …… 1

2. 事業報告の内訳 …… 4

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

（1）企画展覧会 …… 4

① たましん美術館 …… 4

② たましん歴史・美術館 …… 4

③ たましん本店2階ギャラリー …… 5

（2）調査・研究・収集・保存 …… 5

（3）美術講座・美術教育 …… 6

① ギャラリートーク …… 6

② トークイベント、体験型イベント …… 6

（4）地域との連携 …… 7

① 学校との連携 …… 7

② たましん美術館周辺地区との連携 …… 7

③ たましん歴史・美術館周辺地区との連携 …… 7

④ 多摩地域内美術館との連携 …… 8

⑤ 他地区美術館との対外交流 …… 8

（5）広報・普及活動 …… 8

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

（1）『多摩のあゆみ』の刊行 …… 9

（2）刊行物の発行 …… 9

（3）歴史資料室の運営 …… 10

（4）多摩の歴史講座 …… 10

（5）地域とのネットワーク強化 …… 11

（6）「多摩の金融史」関係資料の整理 …… 11

（7）広報・普及活動 …… 11

収益目的事業

3. 物品販売事業（収1）

（1）物品販売事業 …… 12

3. 管理 …… 13

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿 …… 13

2. 評議員会、理事会に関する事項 …… 14

4. 附属明細書 …… 17

1. たましん美術館実績一覧 …… 17

2. たましん歴史・美術館実績一覧 …… 18

3. ギャラリー（本店2F）展覧会名 …… 19

１．事業の概要

令和２年度は、全国的な新型コロナウイルス感染拡大により地域の皆さまにおかれましては、感染防止のための生活習慣の変化や、地域経済活動の停滞が進行する中、これまでにない大変なご苦労をされているものとご拝察いたします。

このような厳しい環境の中でありましたが、当財団としては「たましん美術館」「たましん歴史・美術館」での展覧会や『多摩のあゆみ』の刊行、デジタルアーカイブの充実等により、可能な限りの範囲で各種事業を地域の方々に実施・提供することに努めてまいりした。

令和２年度は、当財団にとって大きな転換の年となりました。令和２年５月に開館した「たましん美術館」（多摩信用金庫新本店１階）は、これまで永年にわたり継続してきた地域文化振興への貢献の具現化であり、また、次世代への文化・芸術の伝播・集合拠点となることを目指しております。

当財団の計画した事業は新型コロナウイルス感染拡大により実施できない事業も多くありましたが、「たましん美術館」で開館記念展として開催した展覧会には多くの方々にご来館していただきました。

(1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公１）

「たましん美術館」は令和２年５月 18 日に開館しましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、６月２日から一般に公開しました。開館記念展Ⅰ「たまびらき」は、たましんコレクションより、明治から昭和期の洋画・彫刻の名品を展示しました（入館者数 4,074 人：１日平均 59.9 人）。開館記念展Ⅱ「東洋古陶磁展」は、たましんコレクションの柱のひとつである東洋古陶磁の展覧会を開催しました。今回は、中国・朝鮮・日本と分け対比するとともに、時代別に展示し、その変化や各時代の特徴が明確となるような展示としました。（入館者数 3,299 人：１日平均 53.2 人）。開館記念展Ⅲ「足跡 1974－2020」は、かつて「たましんギャラリー」で個展を行い、たましんコレクションとして収蔵されている作家の当時の作品と、近作を並列して展示することにより、作家の想いや作風の変化などに着目するとともに、多様な多摩の作家を広く知っていただく展覧会になりました。（入館者数 6,015 人：１日平均 60.2 人）。新型コロナウイルス禍における厳しい環境ではございましたが、開館記念展に多くの方々にご来館いただきました。

また、たましん美術館の開館に合わせ、「たましんコレクション」の図録を 2,000 冊製作しました。うち約 1,000 冊は各美術館に配布し、「たましんコレクション」を紹介して作品を相互に貸借できる環境を整えました。

「たましん歴史・美術館」は、新型コロナウイルス感染予防対応のため、令和

2年3月5日より休館とし、第2波が沈静化した令和2年9月15日より再開しました。「線からはじまる　たましんコレクション展」は、“線”に注目しながら、彫刻、工芸、陶芸などの所蔵品に親しんでいただく展覧会を開催しました（入館者数571人：1日平均7人）。「たましんの洋画」（「併設」彫刻・工芸コレクション）は、たましんコレクションの中からここ数年展示実績のなかった「洋画」を中心に展示しました。藤田嗣治、浅井忠といった著名な作家の作品もあり、ご覧いただいたお客さまには好評な展覧会となりました（入館者数803人：1日平均16.7人）。「たましんの日本画」（「併設」古陶磁コレクション）は、たましんコレクションから「日本画」を中心とした展覧会を行いました。令和3年5月9日までの会期でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月25日より臨時休館と致しました（入館者数301人：1日平均12人）。

たましん新本店2階「地域貢献スペース」の展示活動では、多摩信用金庫よりの業務委託という形で展示会を開催しました。令和2年5月18日より、多摩地域の美術大学と連携し、美大生等若手クリエーターによる作品展を毎月開催致しました。

立川市内中学生のたましん美術館見学につきましては、新型コロナウイルス対応の「緊急事態宣言」により中止となりましたが、宣言解除後の令和3年3月に4校の中学校のみ実施を致しました。その他、美術講座、展覧会に組み込んだイベントやギャラリートーク、そして地域の小学校でのアウトリーチ事業等は、新型コロナウイルス感染予防対応のため計画通りに実施することができませんでした。

(2)『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公2）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、178号から181号まで4回発行しました。178号は令和2年5月15日の刊行を予定しましたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言発動により印刷業者の対応が困難となったため、発行日を6月30日に延期しました。また179号以降についても15日発行から月末発行に変更しました。各号の特集では、178号「多摩の歴史アーカイブス」、179号「旧石器時代から縄文時代へ」、180号「現代の祭りとコミュニティ」、181号「水の生きものたち」を採り上げました。178号では、国文学研究資料館が平成30年度に実施した連続講座をもとに、その成果を記録化して、同館との連携事業に寄与できる特集を組むことができました。180号では新型コロナウイルス感染症対策のため、各地の祭礼が中止される中、多摩各地の祭りの様子を紹介することができました。

歴史資料室は令和2年度に、図書338冊、雑誌253冊、絵葉書124枚、地図1枚、チラシ11枚、ポスター115枚、合計842点を収集・整理しました。また、

公益財団法人図書館振興財団より提案型助成事業の助成を受けて、『多摩のあゆみ』のバックナンバーのうち101～120号、連載中の「赤色立体地図」中の地図画像、所蔵の地図とチラシ22点、ガラス幻灯写真と絵葉書3,102点などを順次デジタルアーカイブで公開しました。TRC - ADEAC㈱のデジタルアーカイブシステムに、全国118機関（図書館・博物館・大学など）とともに公開してどなたでも閲覧できるようになりました。

例年開催している（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は9月～11月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防対応のため中止しました。また、その他にも計画していた記念講演会や中島陟文書資料集の刊行、「多摩の金融史」関係資料の整理等新型コロナウイルス感染予防対応のため計画通りに実施することができない事業もありました。

（3）その他

「たましん美術館」のオープンを契機に、当財団のホームページをリニューアルしました。展覧会情報、『多摩のあゆみ』と歴史資料室の資料・情報等の公開の有効性を高めていきます。

事業報告の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業通し番号	計画項目			報告		入館料収入	入館者数(人)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	(円)	(有料入館者)
1	開館記念展Ⅰ たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション―	自主	前期展:6月2日(火) ～7月5日(日) 後期展:7月11日(土) ～8月23日(日)	68	新美術館の幕開けを飾る開館記念展では、たましんコレクションの中から選りすぐった日本近代(明治、大正、昭和)の洋画・彫刻の名品を展示しました。明治美術会、白馬会、白樺派や草土社、中村屋サロン、二科会や独立美術協会などの作家たちの作品を集め、日本近代美術史の豊かな流れを味わう展覧会となりました。 尚、5月18日の新美術館開館と同時に開幕の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開幕を6月2日に延期いたしました。	1,131,100	4,074(2,319)
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～	自主	9月 5日(土) ～11月15日(日)	62	開館記念展Ⅱとして、所蔵品の柱のひとつである東洋古陶磁のコレクションを紹介しました。 中国・朝鮮・日本の陶磁史を通観しうるよう構成されている当コレクションは、地域の皆さまに、気軽に陶磁器の歴史をご覧いただけるようにとの思いで収集してきました。 本展では、中国の景徳鎮、朝鮮の李朝、日本の伊万里などに代表される名品の数々をご覧いただきました。	766,800	3,299(1,568)
3	開館記念展Ⅲ 足跡1974-2020 ―所蔵品と新作から見える多摩の美術―	自主	1期: 11月28日(土) ～12月27日(日) 2期: 令和3年1月9日(土) ～2月7日(日) 3期: 2月13日(土) ～3月14日(日) 4期: 3月20日(土) ～4月18日(日)	84	本展では、「たましんコレクション」(たましんギャラリーで展示された作品)と、同じ作家の最新作を並べて展示し、多摩信用金庫が1974年から45年間運営してきたたましんギャラリーの歩み、そして地域文化への貢献という果たした役割の大きさを浮き彫りにしていきました。	436,100	5,050(1,505)

②たましん歴史・美術館

計画事業通し番号	計画項目			報告		入館料収入	入館者数(人)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	(円)	(有料入館者)
1	たましんコレクション展―線からはじまる。(後期展示)	自主	令和2年9月15日(火) ～12月20日(日)	82	たましんコレクションから、線をテーマとした絵画、彫刻、工芸による展覧会を行いました。尚、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、2020年3月5日(木)～9月14日(月)までは臨時休館といたしました。	34,700	571(347)
2	たましんの洋画 [併設] 彫刻・工芸コレクション	自主	令和3年1月16日(土) ～3月14日(日)	48	たましんコレクションから、近代洋画を中心とした展覧会を行いました。	60,400	803(604)
3	たましんの日本画[併設]古陶磁コレクション	自主	令和3年3月27日(土) ～4月24日(土)	4	たましんコレクションから、日本画を中心とした展覧会を行いました。 尚、5月9日(日)までの会期でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月25日(日)～5月9日(日)は臨時休館といたしました。	4,000	86(185)

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)活動の支援	共催	通年	たましん新本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和2年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしておりません)

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	次年度展覧会の準備	自主	通年	令和3年度にたましん美術館およびたましん歴史・美術館で行う展覧会の計画を立て、その企画に応じた作品・資料調査をすすめました。
2	作家研究・データベース構築			たましんの美術事業に当初から貢献していただいた作家、倉田三郎、関頑亭、佐藤多持を中心に多摩で活躍してきた作家の調査・研究を行いました。また、松村健三郎、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催に向け、調査・研究を進めました。
3	資料の収集			倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集しました。佐藤多持ご遺族からは、作品および資料の寄贈を受けました。
4	作品収集の検討			美術館の発展のために作品の収集を持続的に行っていくため、収集方法(購入・寄贈)、対象とする作家、作品の基準、選定委員の発足などについて検討しました。
5	作品の修復及び額新装			展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復について検討しました。特に平成30年、令和元年度に寄贈を受けた小貫政之助の作品を対象に検討しました。
6	資料保存環境の整備			資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM資料(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行いました。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存しました。
7	所蔵作品のフィルムデータの整備			近代洋画・工芸についてのデジタル化・新規撮影を行う予定でしたが、前年度末に所蔵品目録作成のため、前倒しで行い、完了しました。
8	美術図書資料			収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図りました。整理作業を定期的に行い、配架しました。

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	開館記念展Ⅰ たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション―	自主	実施せず	担当学芸員による展示作品の解説を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～	自主	実施せず	担当学芸員による展示作品の解説を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今”	自主	実施せず	担当学芸員による展示作品の解説を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。

②トークイベント、体験型イベント

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	開館記念展Ⅰ たまびらき ―たましんの日本近代美術コレクション― 関連イベント	自主	実施せず	トークセッション「多摩の館長座談会」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
			実施せず	ワークショップ 「〈○○賞〉をつくっちゃおう！」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
2	開館記念展Ⅱ 東洋古陶磁展 ～コレクションでたどる東洋のこころ～ 関連イベント	自主	実施せず	講演会「やきものの歴史」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
			実施せず	「ワークショップ マイカップ作り」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
3	開館記念展Ⅲ 多摩の作家シリーズ vol.1 多摩の“今” 関連イベント	自主	実施せず	トークイベント「作家と語る」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
				トークイベント「作家と語る」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
				トークイベント「作家と語る」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。
				トークイベント「作家と語る」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域の小中学校との連携	自主	通年	立川市教育委員会と連携し、立川市内中学生のたましん美術館見学につきましては、新型コロナウイルス対応の「緊急事態宣言」により中止となりましたが、宣言解除後の令和3年3月に4校の中学校のみ実施を致しました。
2	美術大学との連携	自主	通年	地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へと繋げていきます。各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行いました。

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)との連携	自主	実施せず	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく予定でしが、新型コロナウイルス拡大防止にともない各機関の臨時休館などがあったため、実施を見送りました。
2	ファーレ立川アートとの連携			
3	国営昭和記念公園との連携			
4	国文学研究資料館との連携			

③ たましん歴史・美術館周辺地区との連携

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	美術講演会	共催	実施せず	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止いたしました。

④ 多摩地域内美術館との連携

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	多摩地域内美術館との連携	自主	通年	たましん美術館は、府中市美術館、八王子市夢美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、東京富士美術館など多摩地域内の美術館との交流を図りました。

⑤ 他地区美術館との対外交流

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	多摩地域外の美術館との交流	自主	通年	多摩地区外の全国の美術館の内、たましん美術館と規模を同じくする小規模美術館を中心に交流を図りました。

(5)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行いました。
2	配布先の検証	自主	通年	令和2年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とせず、展覧会の企画内容に応じて変動させました。

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業通し番号	計画項目			報告	発行部数(部)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	178号「多摩の歴史アーカイブズ」	自主	6月30日(火)	国文学研究資料館主催の平成30年度連続講座をもとに、同館が所蔵している多摩地域にかかわる歴史アーカイブズ(古文書)を紹介しました。新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言に対応して、本誌の発行日を5月15日から6月末日に延期しました。なお、次号よりは、発行当該月の15日から末日に変更しました。	13,000
2	179号「旧石器時代から縄文時代へ」	自主	8月31日(月)	2019年度の多摩の歴史講座を踏まえ、2020年に縄文時代草創期の最古級の遺跡であることが発表されたあきる野市前田耕地遺跡について、考古学史の中での位置づけ、石器の利用、土器の発生や当時の人の生活サイクルなどから、考察・紹介しました。	13,000
3	180号「現代の祭りとコミュニティ」	自主	11月30日(月)	現代の祭りの類型を整理して、獅子舞をめぐる保存会、囃子と町会、神輿会と講組織、イッケ稲荷の様相など、さまざまな観点から多摩各地の祭りを取り上げました。地元の人びとと転居してきた人たちの、新たなコミュニティ形成の場となる祭りの様相にも迫りました。	13,000
4	181号「水の生きものたち」	自主	令和3年 2月28日(日)	多摩川やその支流・奥多摩湖・御岳山などの山の沢・丘陵地の谷戸・井の頭池など、多摩の様々な水環境に生息する、魚類・甲殻類・両生類・鳥類・水生昆虫の生態と環境との密接なつながりを考察、紹介しました。	13,000

(2)刊行物の発行

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	中島陟文書資料集の刊行	共催	通年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ:会長)が所蔵している中島陟文書資料を刊行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大したため編集作業が進捗しませんでした。よって、令和3年度への継続事業としました。 協力者:渡辺彰子氏 書　名:『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市―常務取締役中島陟文書より―』(仮称)

(3)歴史資料室の運営

計画事業通し番号	計画項目			報告	閲覧者数(人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	歴史資料室の運営	自主	通年	新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言発令を受けて、4～5月は臨時休館しました。 令和2年度は、図書338冊、雑誌253冊、絵葉書124枚、地図1枚、チラシ11枚、ポスター115枚、合計842点を収集・整理しました。 今期末現在で図書26,951冊、雑誌15,687冊、絵葉書6,405枚、地図1,843枚、チラシ537枚、ポスター4,403枚を公開しています。	閲覧者用紙記入者数382

(4)多摩の歴史講座

計画事業通し番号	計画項目			報告	参加者数(人)
	事業名	自主・共催	実施予定日	事業内容及び説明	
1	第24回多摩の歴史講座(1～5講) (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センターとの共催事業	共催		24回目を迎えた令和2年度も、テーマを「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」として開催準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、中止としました。なお、本企画は令和3年度に実施する予定です。	
			第1講	「デジタル地図で歴史を記録し、未来へ伝える」 講師：古橋大地(青山学院大学地球社会共生学部教授)	
			第2講	シンポジウム「記憶を呼び覚ます古写真のカラー化とデジタルマッピング」 講師：石川 初(慶應義塾大学大学院・メディア研究科環境情報学部教授)、渡邉英徳(東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)、古橋大地(青山学院大学地球社会共生学部教授)	
			第3講	「山岳展望とカシミール3D、山岳信仰」 講師：田代 博(日本地図センター)	
			第4講	「用水の歴史を赤色立体地図で考える」 講師：本田創(『東京暗渠散歩』著者)、千葉達朗(アジア航測株式会社)	
			第5講	「東京時層地図と地理院地図」 講師：小林政能(日本地図センター)	
2	記念講演会	自主	6月27日(土)	新美術館の開館と『多摩のあゆみ』178号の発行にあわせて、下記の記念講演会開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、中止としました。 講　師：ロバート・キャンベル氏(国文学研究資料館館長) 会　場：多摩信用金庫本店 3階会議室 定　員：100名 受講料：無料	

(5)地域とのネットワーク強化

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館(国分寺市)、東京都公文書館(国分寺市)などとの連携は、新型コロナウイルス感染症のため、十分には深められませんでした。 しかしながら、立川市や多摩市などの編さん事業に協力し、さらに東京都三多摩公立博物館協議会に協力して、博物館が取り組むコロナ対策の情報共有に努めました。

(6)「多摩金融史」関係資料の整理

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、15回目まで掲載してきました。 武蔵野支店に収蔵されている多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料調査・撮影は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して実施できませんでした。

(7)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』刊行等の告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』の刊行や歴史資料室所蔵資料等の情報を、リニューアルした当財団のホームページで公開しました。
2	歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	公益財団法人図書館振興財団より令和元年度提案型助成事業の助成を受けて、歴史資料室所蔵の地図とチラシ22点、ガラス幻灯写真と絵葉書3102点などを、順次デジタルアーカイブで公開しました。 TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国118機関(図書館・博物館・大学など)とともに公開して、どなたでも閲覧できます。 本年度(令和2年4月～令和3年3月)の総アクセス数は、507,584pv(※)です。※pv(page view):ページへのアクセス数の単位。 前年度までひと月20,000pv前後だったアクセス数は、4月33,000pv、5月41,000pvと急増し、その後は40,000pv前後で推移して、令和3年3月は54,617 pvでした。

収益目的事業

3. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(1)物品販売事業

計画事業通し番号	計画			報告	売上高
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館ミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行いました。 当初、たましん歴史・美術館においても絵はがきの販売を計画していましたが、物販はたましんミュージアムショップに集約して行いました。	絵はがき 41,400 みやげ品 264,033 計 305,433

3. 管理

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿

①評議員

（令和3年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	齋藤（さいとう） 愼一（しんいち）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古文書学術調査団　委員
〃	歌田（うただ） 眞介（しんすけ）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学　名誉教授
〃	岡野（おかの） 法世（のりよ）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	佃（つくだ） 堅輔（けんすけ）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	美術評論家 法政大学　名誉教授
〃	小松（こまつ） 欽（きん）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	坂誥（さかづめ） 秀一（ひでいち）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学　名誉教授
〃	小俣（おまた） 勝俊（かつとし）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫　専務理事

②理事

（令和3年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	八木（やぎ） 敏郎（としろう）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫　理事長
理　事	川口（かわぐち） 哲生（てつお）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	株式会社 カワグチオートサービス 代表取締役
〃	村野（むらの） 安成（やすなり）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造場 代表社員
〃	和井田（わいだ） 慶子（けいこ）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩﨑ビルディング株式会社 監査役
〃	馬場（ばば） 憲一（けんいち）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学　名誉教授
〃	中島（なかじま） 孝昌（たかまさ）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	中島建設株式会社 代表取締役
〃	綿引（わたひき） 康司（こうじ）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団　理事（非常勤）

②監事

（令和3年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監　事	中野（なかの） 隆右（たかみち）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	NPO法人立川教育振興会 理事長
〃	小澤（おざわ） 伸光（のぶあき）	令和2年6月22日から令和4年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1)会議開催の状況

①評議員会

開会年月日	件　　名	会議結果
令和2年6月22日 (定時)	第1号議案　「令和1年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録」について	可　決
	第2号議案　理事の選任について	可　決
	第3号議案　監事の選任について	可　決
	第4号議案　評議員の選任について	可　決
	第5号議案　定款の一部変更について	可　決
令和3年3月25日 (第2回)	第1号議案　「令和3年度事業計画(案)」について	可　決
	第2号議案　「令和3年度収支予算(案)」について	可　決
	第3号議案　理事の選任及び解任について	可　決
	報告事項①　八木理事長　職務執行状況報告	—
	報告事項②　綿引業務執行理事　職務執行状況報告	—
	報告事項③　人事異動について	—

②理事会

開会年月日	件　　名	会議結果
令和2年5月15日 （第1回） （書面決議）	第1号議案　多摩信用金庫との「建物賃貸契約」について	可　決
	第2号議案　多摩信用金庫本店・本部棟「地域貢献スペース」の業務委託契約について	可　決
令和2年6月15日 （第2回） （書面決議）	第1号議案　「令和1年度事業報告及び附属明細書」について	可　決
	第2号議案　「令和1年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録」について	可　決
	第3号議案　令和2年度定時評議員会の決議の省略について	可　決
	第4号議案　定款の一部変更について	可　決
令和2年6月22日 （第3回） （書面決議）	決議事業（1）代表理事1名選定の件	可　決
	決議事業（2）業務執行理事1名選定の件	可　決
	決議事業（3）重要な使用人（館長）選任の件	可　決
令和2年12月9日 （第4回） （書面決議）	決議事項（1）規程の改正について	可　決
令和3年3月9日 （第5回）	第1号議案　「令和3年度　事業計画（案）」について	可　決
	第2号議案　「令和3年度　収支予算（案）」について	可　決
	第3号議案　令和2年第2回評議員会の招集について	可　決
	第4号議案　人事異動について	可　決
	報告事項①　八木理事長　職務執行状況報告	—
	報告事項②　綿引業務執行理事　職務執行状況報告	—
	報告事項③　人事異動について	—

4.付属明細書

1 .たましん美術館実績一覧

開催月	開館日数	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	ショップ売上	売上合計
4月	–	–	–	–	–	–	–	–
5月	–	–	–	–	–	–	–	–
6月	25	835	708	1,543	61.7	409,700	38,649	448,349
7月	23	831	584	1,415	61.5	406,900	42,874	449,774
8月	20	653	463	1116	55.8	314,500	36,712	351,212
9月	22	598	542	1140	51.8	291,800	58,280	350,080
10月	28	594	751	1345	49.8	290,400	85,798	376,198
11月	16	432	556	988	65.9	200,900	46,304	247,204
12月	24	414	936	1350	56.3	120,900	28,897	149,797
1月	20	276	374	650	32.5	80,200	18,690	98,890
2月	20	381	790	1171	58.6	110,600	43,794	154,394
3月	24	378	1,327	1705	71.0	108,100	32,187	140,287
合計	220	5,392	7,031	12,423	55.2	2,334,000	432,185	2,766,185

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	合計売上	入館料収入
6/2～8/24	開館記念展Ⅰ　たまびらき	68	4,074	2,319	1,755	60	1,249,335	1,131,100
9/5～11/15	開館記念展Ⅱ　東洋古陶磁展	62	3,299	1,568	1,731	53	954,557	766,800
11/28～4/18	開館記念展Ⅲ　足跡1974-2020	84	5,050	1,505	3,545	60	562,293	436,100

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、2020年5月18日に開場式のみ行い、6月1日まで臨時休館

※開館記念展Ⅲ　足跡1974-2020の入館者数、有料、招待、一日平均、合計売上は、3月31日までを換算

2. たましん歴史・美術館実績一覧

開催月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	その他売上	売上合計
4月	–	–	–	–	–	–	–	–
5月	–	–	–	–	–	–	–	–
6月	–	–	–	–	–	–	–	–
7月	–	–	–	–	–	–	–	–
8月	–	–	–	–	–	–	–	–
9月	13	59	15	74	5.7	5,900	4,272	10,172
10月	27	99	89	188	7.0	9,900	0	9,900
11月	24	117	92	209	8.7	11,700	0	11,700
12月	18	72	28	100	5.6	7,200	0	7,200
1月	14	152	47	199	14.2	15,200	3,000	18,200
2月	22	281	94	375	17.0	28,100	0	28,100
3月	16	211	104	315	19.7	21,100	0	21,100
合計	134	991	469	1,460	10.9	99,100	7,272	106,372

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	合計売上	入館料収入
9/15～12/20 (後期)	たましんコレクション展 一線からはじまる。	82	571	347	224	7	38,972	34,700
1/16～3/14	たましんの洋画 【併設】彫刻・工芸コレクション	48	803	604	199	17	63,400	60,400
3/27～5/9	たましんの日本画 【併設】古陶磁コレクション	4	86	40	46	22	4,000	4,000

※新型コロナウイルス感染症防止対策による緊急事態宣言発出に伴い、2020年3月5日から9月15日までは臨時休館

※「たましんの日本画」の入館者数、有料、招待、一日平均、合計売上は、3月31日までを換算

3. ギャラリー(本店2F)展覧会名

たましん新本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和2年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしておりません)

展覧会名	会 期
1. 武蔵野美術大学版画研究室展「MAU Graphic-Arts Exhibition Part1」	5月18日～6月13日
2. 武蔵野美術大学版画研究室展「MAU Graphic-Arts Exhibition Part2」	6月15日～7月11日
3. 赤本啓護個展「100 Plateau」	7月13日～8月8日
4. 越智也美個展「Dialogue/Monologue」	8月10日～9月5日
5. 鈴木富美子個展「留まることは、」	9月7日～10月3日
6. 中村真理・松塚実佳二人展「中村真理／松塚実佳」	10月5日～10月31日
7. 芦川瑞季・宮寺彩美二人展「スライド」	11月2日～11月28日
8. 武蔵野美術大学版画研究室・多摩美術大学版画研究室合同展「Brand-New Graphic Arts」	11月30日～1月9日
9. 山田ひかる・古賀慧道二人展「MEMORIA」	1月11日～2月6日
10. 豊泉綾乃個展「RECOVERY」	2月8日～3月6日
11. 所彰宏個展「Cut and Sew」	3月8日～4月3日

令和2年度

決 算 書

自　　令和2年4月1日

至　　令和3年3月31日

公益財団法人たましん地域文化財団

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	489,117	540,000	△ 50,883
現金	489,117	540,000	△ 50,883
預金	10,399,491	11,283,393	△ 883,902
普通預金	6,826,038	9,633,393	△ 2,807,355
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
郵便貯金	1,323,453	0	1,323,453
定期積金	1,050,000	450,000	600,000
棚卸資産	1,327,614	2,394,613	△ 1,066,999
書籍	934,995	961,927	△ 26,932
絵はがき	209,167	1,432,686	△ 1,223,519
雑貨･文具	183,452	0	183,452
前払費用	370,676	161,700	208,976
未収金	15,008	21,650	△ 6,642
流動資産合計	12,601,906	14,401,356	△ 1,799,450
2　固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	80,000,000	80,000,000	0
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	21,169,345	21,169,345	0
不動産(建物)	3,485,491	3,485,491	0
基本財産合計	853,872,936	853,872,936	0
(2)特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,599,000	5,599,000	0
退職給付引当資産	6,380,000	5,830,000	550,000
修繕引当資産	20,000,000	23,400,000	△ 3,400,000
特定資産合計	31,979,000	34,829,000	△ 2,850,000
(3)その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	1,688,552	1,111,628	576,924
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	890,000	410,000	480,000
その他固定資産合計	2,869,753	1,812,829	1,056,924
固定資産合計	888,721,689	890,514,765	△ 1,793,076
資産の部合計	901,323,595	904,916,121	△ 3,592,526
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
預り金	421,282	327,585	93,697
未払金	679,113	175,390	503,723
未払費用	1,095,923	827,252	268,671
前受収益	1,372,054	0	1,372,054
賞与引当金	1,270,000	1,510,000	△ 240,000
流動負債 合計	4,838,372	2,840,227	1,998,145
2　固定負債			
退職給付引当金	6,380,000	5,830,000	550,000
固定負債合計	6,380,000	5,830,000	550,000
負債の部合計	11,218,372	8,670,227	2,548,145
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産	849,471,936	849,471,936	0
(うち基本財産への充当額)	(843,872,936)	(843,872,936)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(5,599,000)	(5,599,000)	(0)
2　一般正味財産	40,633,287	46,773,958	△ 6,140,671
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,00,0000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(23,400,000)	(△ 3,400,000)
正味財産の部合計	890,105,223	896,245,894	△ 6,140,671
負債及び正味財産合計	901,323,595	904,916,121	△ 3,592,526

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)　経常収益			
基本財産運用益	4,608,002	1,988,840	2,619,162
基本財産運用益	8,002	8,019	△17
基本財産受取配当金	4,600,000	1,980,821	2,619,179
特定資産運用益	3,046	2,998	48
特定資産運用益	3,046	2,998	48
固定資産受贈益	480,000	512,978	△32,978
固定資産受贈益	480,000	130,000	350,000
固定資産受贈益振替分	0	382,978	△382,978
事業収益	2,879,075	2,798,098	80,977
入館料収益	2,433,100	830,600	1,602,500
図録販売収益	81,700	1,432,500	△1,350,800
出版事業収益	58,842	27,468	31,374
喫茶事業収益	0	39,300	△39,300
物品販売収益	305,433	468,230	△162,797
受取補助金等	4,891,720	1,117,000	3,774,720
受取国庫助成金	68,000	0	68,000
受取民間助成金	4,823,720	1,117,000	3,706,720
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	79,216,000	64,000,000	15,216,000
受取寄付金	79,216,000	64,000,000	15,216,000
受取寄付金振替額	0	0	0
前受収益	0	0	0
雑収益	814,605	249,470	565,135
受取利息	711	3,002	△2,291
雑収益	813,894	246,468	567,426
経常収益計	92,892,448	70,669,384	22,223,064
(2)　経常費用			
事業費	92,187,129	68,497,107	23,690,022
災害修復費	0	0	0
売上原価	57,563	1,201,797	△1,144,234
給料手当	22,513,107	20,185,500	2,327,607
臨時雇賃金	6,626,602	7,655,858	△1,029,256
賞与引当金繰入	1,270,000	1,510,000	△240,000
退職給付費用	550,000	560,000	△10,000
法定福利費	3,990,146	3,558,444	431,702
福利厚生費	117,449	413,121	△295,672
旅費交通費	1,200,059	1,580,322	△380,263
通信運搬費	2,991,571	2,299,901	691,670
支払手数料	108,269	0	108,269
減価償却費	836,930	1,104,313	△267,383
消耗什器備品費	1,061,347	677,827	383,520
消耗品費	2,761,393	1,061,550	1,699,843
修繕費	135,313	81,757	53,556
印刷製本費	10,577,726	10,778,493	△200,767
燃料費	40,345	41,379	△1,034
光熱水料費	1,121,665	1,812,243	△690,578
賃借料	18,219,212	1,999,891	16,219,321
保険料	1,233,790	993,202	240,588
諸謝金	806,879	1,029,034	△222,155

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
保守管理費	2,745,704	928,000	1,817,704
会議費	8,224	135,614	△127,390
支払負担金	0	100,000	△100,000
図書費	240,460	383,934	△143,474
委託費	12,473,943	7,917,072	4,556,871
研修費	0	0	0
宣伝費	64,000	129,200	△65,200
仕入費	184,732	82,155	102,577
諸会費	200,700	262,300	△61,600
雑費	0	14,200	△14,200
退職金	50,000	0	50,000
管理費	5,562,504	4,143,313	1,419,191
役員報酬	214,320	262,080	△47,760
給料手当	480,000	480,000	0
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	160,438	113,158	47,280
福利厚生費	22,240	73,586	△51,346
会議費	58,109	310,615	△252,506
旅費交通費	39,918	177,581	△137,663
通信運搬費	362,358	290,874	71,484
支払手数料	48,132	0	48,132
減価償却費	325,686	128,761	196,925
消耗什器備品費	122,555	68,821	53,734
消耗品費	610,869	312,746	298,123
修繕費	23,877	15,698	8,179
印刷製本費	158,441	156,200	2,241
燃料費	6,977	7,297	△320
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	784,732	205,266	579,466
保険料	47,850	11,328	36,522
諸謝金	0	0	0
租税公課	11,100	30,600	△19,500
保守管理費	90,360	72,000	18,360
図書費	0	0	0
研修費	0	173,320	△173,320
交際費	447,556	203,250	244,306
委託費	1,109,986	566,396	543,590
諸会費	364,300	406,200	△41,900
雑費	700	5,536	△4,836
経常費用計	97,749,633	72,640,420	25,109,213
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,857,185	△1,971,036	△2,886,149
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,857,185	△1,971,036	△2,886,149
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取保険金	0	2,000,000	△2,000,000
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	2,000,000	△2,000,000

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
(2) 経常外費用			
災害損失	0	1,666,207	△1,666,207
災害修復損失	0	1,276,000	△1,276,000
災害損失	0	390,207	△390,207
その他経常外費用	1,213,486	1,225,400	△11,914
その他経常外費用	0	1,071,400	△1,071,400
棚卸資産処分損	1,213,486	154,000	1,059,486
経常外費用計	1,213,486	2,891,607	△1,678,121
当期経常外増減額	△1,213,486	△891,607	△321,879
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	0
他会計への繰出額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,140,671	△2,932,643	△3,208,028
一般正味財産期首残高	46,773,958	49,706,601	△2,932,643
一般正味財産期末残高	40,633,287	46,773,958	△6,140,671
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金	0	5,599,000	△5,599,000
出資金（指定）	0	0	0
公社債（指定）	0	0	0
定期預金（指定）	0	0	0
受取寄付金	0	5,599,000	△5,599,000
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	382,978	△382,978
一般正味財産への振替額	0	382,978	△382,978
当期指定正味財産増減額	0	5,216,022	△5,216,022
指定正味財産期首残高	849,471,936	844,255,914	5,216,022
指定正味財産期末残高	849,471,936	849,471,936	0
Ⅲ 正味財産期末残高	890,105,223	896,245,894	△6,140,671

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	合　計
	公1	公2	共通	小　計	収1		
Ⅰ　一般正味財産増減の部							
1．経常増減の部							
(1)　経常収益							
基本財産運用益	0	0	4,608,002	4,608,002	0	0	4,608,002
基本財産運用益	0	0	8,002	8,002	0	0	8,002
基本財産受取配当金	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	4,600,000
特定資産運用益	0	0	3,046	3,046	0	0	3,046
特定資産運用益	0	0	3,046	3,046	0	0	3,046
固定資産受贈益	480,000	0	0	480,000	0	0	480,000
固定資産受贈益	480,000	0	0	480,000	0	0	480,000
事業収益	2,514,800	58,842	0	2,573,642	305,433	0	2,879,075
入館料収益	2,433,100	0	0	2,433,100	0	0	2,433,100
図録販売収益	81,700	0	0	81,700	0	0	81,700
出版事業収益	0	58,842	0	58,842	0	0	58,842
物品販売収益	0	0	0	0	305,433	0	305,433
受取補助金等	0	4,823,720	68,000	4,891,720	0	0	4,891,720
受取国庫助成金	0	0	68,000	68,000	0	0	68,000
受取民間助成金	0	4,823,720	0	4,823,720	0	0	4,823,720
受取寄付金	1,430,000	0	74,426,000	75,856,000	850,000	2,510,000	79,216,000
受取寄付金	1,430,000	0	74,426,000	75,856,000	850,000	2,510,000	79,216,000
雑収益	209,000	516,222	34,671	759,893	0	54,712	814,605
受取利息	0	0	711	711	0	0	711
雑収益	209,000	516,222	33,960	759,182	0	54,712	813,894
経常収益計	4,633,800	5,398,784	79,139,719	89,172,303	1,155,433	2,564,712	92,892,448
(2)　経常費用							
事業費	57,377,765	33,499,444	0	90,877,209	1,309,920	0	92,187,129
売上原価	8,344	18,588	0	26,932	30,631	0	57,563
給料手当	13,241,107	9,272,000	0	22,513,107	0	0	22,513,107
臨時雇賃金	4,386,027	2,240,575	0	6,626,602	0	0	6,626,602
賞与引当金繰入	810,000	460,000	0	1,270,000	0	0	1,270,000
退職給付費用	260,000	290,000	0	550,000	0	0	550,000
法定福利費	2,370,683	1,619,463	0	3,990,146	0	0	3,990,146
福利厚生費	55,368	62,081	0	117,449	0	0	117,449
旅費交通費	858,610	341,449	0	1,200,059	0	0	1,200,059
通信運搬費	1,377,728	1,608,314	0	2,986,042	5,529	0	2,991,571
支払手数料	27,160	77,403	0	104,563	3,706	0	108,269
減価償却費	690,194	146,736	0	836,930	0	0	836,930
消耗什器備品費	816,159	218,788	0	1,034,947	26,400	0	1,061,347
消耗品費	2,154,381	465,638	0	2,620,019	141,374	0	2,761,393
修繕費	95,516	39,797	0	135,313	0	0	135,313
印刷製本費	2,572,905	8,004,821	0	10,577,726	0	0	10,577,726
燃料費	27,928	12,417	0	40,345	0	0	40,345
光熱水料費	915,665	206,000	0	1,121,665	0	0	1,121,665
賃借料	17,038,781	310,118	0	17,348,899	870,313	0	18,219,212
保険料	1,217,141	16,649	0	1,233,790	0	0	1,233,790
諸謝金	0	806,879	0	806,879	0	0	806,879
保守管理費	2,521,343	206,000	0	2,727,343	18,361	0	2,745,704
会議費	5,284	2,940	0	8,224	0	0	8,224
図書費	11,000	229,460	0	240,460	0	0	240,460
委託費	5,829,241	6,615,828	0	12,445,069	28,874	0	12,473,943
宣伝費	44,000	20,000	0	64,000	0	0	64,000
仕入費	0	0	0	0	184,732	0	184,732
諸会費	43,200	157,500	0	200,700	0	0	200,700
退職金	0	50,000	0	50,000	0	0	50,000
管理費	0	0	0	0	0	5,562,504	5,562,504
役員報酬	0	0	0	0	0	214,320	214,320
給料手当	0	0	0	0	0	480,000	480,000
法定福利費	0	0	0	0	0	160,438	160,438
福利厚生費	0	0	0	0	0	22,240	22,240
会議費	0	0	0	0	0	58,109	58,109
旅費交通費	0	0	0	0	0	39,918	39,918
通信運搬費	0	0	0	0	0	362,358	362,358
支払手数料	0	0	0	0	0	48,132	48,132
減価償却費	0	0	0	0	0	325,686	325,686
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	122,555	122,555
消耗品費	0	0	0	0	0	610,869	610,869
修繕費	0	0	0	0	0	23,877	23,877
印刷製本費	0	0	0	0	0	158,441	158,441
燃料費	0	0	0	0	0	6,977	6,977
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	784,732	784,732
保険料	0	0	0	0	0	47,850	47,850
租税公課	0	0	0	0	0	11,100	11,100
保守管理費	0	0	0	0	0	90,360	90,360
交際費	0	0	0	0	0	447,556	447,556
委託費	0	0	0	0	0	1,109,986	1,109,986

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	合　計
	公1	公2	共通	小　計	収1		
諸会費	0	0	0	0	0	364,300	364,300
雑費	0	0	0	0	0	700	700
経常費用計	57,377,765	33,499,444	0	90,877,209	1,309,920	5,562,504	97,749,633
評価損益等調整前当期経常増減額	△52,743,965	△28,100,660	79,139,719	△1,704,906	△154,487	△2,997,792	△4,857,185
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△52,743,965	△28,100,660	79,139,719	△1,704,906	△154,487	△2,997,792	△4,857,185
2．経常外増減の部							
(1)　経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)　経常外費用							
その他経常外費用	0	0	0	0	1,213,486	0	1,213,486
棚卸資産処分損	0	0	0	0	1,213,486	0	1,213,486
経常外費用計	0	0	0	0	1,213,486	0	1,213,486
当期経常外増減額	0	0	0	0	△1,213,486	0	△1,213,486
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△52,743,965	△28,100,660	79,139,719	△1,704,906	△1,437,973	△2,997,792	△6,140,671
一般正味財産期首残高	△214,655,926	△232,268,118	484,595,631	37,671,587	1,881,890	7,220,481	46,773,958
一般正味財産期末残高	△267,399,891	△260,368,778	563,735,350	35,966,681	443,917	4,222,689	40,633,287
Ⅱ　指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	849,471,936
指定正味財産期末残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	849,471,936
Ⅲ　正味財産期末残高	278,033,751	△260,368,778	866,294,350	883,959,323	1,923,211	4,222,689	890,105,223

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	80,000,000	0	0	80,000,000
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	0	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	0	21,169,345
建物	3,485,491	0	0	3,485,491
小　　計	853,872,936	0	0	853,872,936
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	0	0	5,599,000
退職給付引当資産	5,830,000	550,000	0	6,380,000
修繕引当資産	23,400,000	0	3,400,000	20,000,000
小　　計	34,829,000	550,000	3,400,000	31,979,000
合　　計	888,701,936	550,000	3,400,000	885,851,936

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	80,000,000	(70,000,000)	(10,000,000)	(0)
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	(230,000,000)	(0)	(0)
美術品	519,218,100	(519,218,100)	(0)	(0)
土地	21,169,345	(21,169,345)	(0)	(0)
建物	3,485,491	(3,485,491)	(0)	(0)
小　　計	853,872,936	(843,872,936)	(10,000,000)	(0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	(5,599,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	6,380,000	(0)	(0)	(6,380,000)
修繕引当資産	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小　　計	31,979,000	(5,599,000)	(20,000,000)	(6,380,000)
合　　計	885,851,936	(849,471,936)	(30,000,000)	(6,380,000)

４．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	55,140,074	51,654,583	3,485,491
什器備品	3,446,966	1,758,414	1,688,552
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合　　計	59,096,290	53,922,246	5,174,044

５．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和2年度文化芸術復興費助成金	文化庁	0	68,000	68,000	0	
デジタルアーカイブ公開事業助成金	図書財団	0	4,823,720	4,823,720	0	
合　　計		0	4,891,720	4,891,720	0	

財　産　目　録

令和 3年 3月31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金			489,117
	現金	手元保管	運転資金　489,117円である。	489,117
	預金			10,399,491
	普通預金			6,826,038
	多摩信用金庫国立支店	多摩信用金庫国立支店　普通預金	運転資金として	3,029,626
	青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店　普通預金	運転資金として	3,660,696
	多摩信用金庫本店	多摩信用金庫本店　普通預金	運転資金として	135,716
	定期預金			1,200,000
	青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店　定期預金	運転資金として	1,200,000
	郵便貯金			1,323,453
	ゆうちょ銀行　当座預金　多摩のあゆみ	ゆうちょ銀行０一九支店　当座預金	運転資金として	1,323,453
	定期積金			1,050,000
	青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店　定期積金	運転資金として	1,050,000
	棚卸資産			1,327,614
	書籍	たましん歴史・美術館、たましん美術館	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、公２[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の在庫である。	934,995
	絵はがき	たましん美術館	収１[物品販売]の在庫である。	209,167
	雑貨・文具	たましん美術館	収１[物品販売]の在庫である。	183,452
	前払費用	全国公益法人協会	法人の管理運営の用に関わる会費である。　46,200円 会社役員賠償責任保険料である。　63,000円	370,676
		セコム（株）	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での御岳美術館の警備保守料(令和3年4-6月分)である。　33,000円	
		アルピン（株）	ＨＰ保守料(令和3年4-6月分)である。　198,000円	
		（株）カワグチオートサービス	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する車両のタイヤ保管代(消耗品費）である。　13,239円	
		たましんリース（株）	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供するコピー機のリース代(賃借料)である。　17,237円	
	未収金	地方小出版流通センターほか	公２[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。　9,127円	15,008
		たましん歴史・美術館	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での入館料収入である。　1,300円	
		たましん美術館	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での入館料収入である。　3,000円 公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売事業での売上代金である。　300円 公２[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。　1,281円	
流動資産合計				12,601,906
（固定資産）				
基本財産				
	定期預金	多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。	80,000,000
	出資金	多摩信用金庫出資金	同上	230,000,000
	美術品（基本）	たましん美術館、武蔵野収蔵庫、国立収蔵庫　全3,815点。	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	519,218,100
	不動産(土地)	青梅市御岳本町１－１　434.08㎡ 同所同番6　57.91㎡ 合計　491.99㎡	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館用地である。但し、令和元年9月に閉鎖した。	21,169,345
	不動産(建物)	青梅市御岳本町１－１及び１－６ 木・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ銅版ぶき３階建て １階　83.16㎡ ２階　230.59㎡ ３階　142.43㎡ 合計　456.18㎡	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館建物である。但し、令和元年9月に閉鎖した。	3,485,491
特定資産				
	美術館事業準備積立資産	多摩信用金庫国立支店　定期預金	美術館事業運営のための準備積立金　5,599,000円	5,599,000
	退職給付引当資産	多摩信用金庫国立支店　定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	6,380,000
	修繕引当資産	青梅信用金庫中町支店　定期預金	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」建物にかかる修繕の財源として管理している。	20,000,000
その他固定資産				
	電話加入権	042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
	什器備品	パソコン、エアコンほか	（共用財産） 公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産である。	1,688,552
	ソフトウェア	会計ソフト	法人の管理運営の用に供している財産である。	1
	美術品（その他）	国立収蔵庫　全89点	公１[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	890,000
固定資産合計				888,721,689
資産合計				901,323,595
（流動負債）				
	預り金	職員	社会保険料3月分。　243,642円 社会保険料特別賞与分。　46,862円 雇用保険4-3月および賞与分。　74,342円 昼食代3月分。　4,875円	421,282
		パートタイマー	雇用保険4-3月。　7,546円 所得税3月分。　3,319円 昼食代3月分。　11,375円	
		アルバイト	昼食代3月分。　340円	
		多摩のあゆみ原稿料	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での『多摩のあゆみ』原稿料に係る源泉徴収税3月分。　19,328円	
		グッズ著作権使用料	収1[物品販売]・法人の管理運営に関わる事業での著作権使用料に係る源泉徴収税3月分。　4,548円	
		法律顧問料	法人の管理運営に関わる事業での法律顧問料に係る	

財　産　目　録

令和 3年 3月31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	未払金		源泉徴収税。　5.105円	
		(株)武蔵野	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん歴史・美術館入口用マットリース代(委託費)である。 10,004円	679,113
		(株)ハナミ	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での足跡展第4期シート代他である。　56,100円	
		(株)エムビーエー	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での図書管理システム使用料に関する委託費である。 41,800円	
		(有)金文堂	法人会計での名刺代他(消耗品費)。　14,388円	
		(株)田辺石油商会	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する車両のガソリン代（燃料費）である。　5,925円	
		(株)豊田レンタリース多摩	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのレンタカー代(賃借料)である。　13,967円	
		多摩都市モノレール(株)	収1[物品販売] のグッズ委託販売の仕入費である。 6,855円	
		加藤　進一	収1[物品販売] のグッズ委託販売の仕入費である。 21,560円	
		鈴蔵	収1[物品販売] のグッズ委託販売の仕入費である。 15,439円	
		(株)けやき出版	収1[物品販売] のグッズ委託販売の仕入費である。 1,769円	
		(株)月光荘画材店	収1[物品販売] のグッズ委託販売の仕入費である。 5,106円	
		ﾔﾏﾄｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾛｼﾞｽﾃｨｸｽｼﾞｬﾊﾟﾝ	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での展示業務代(委託費)である。　205,700円	
		アルピン(株)	法人会計でのパソコン代である。　280,500円	
	未払費用	職員	法人の管理運営の業務に従事する職員の3月分の交通費である。　9,516円	1,095,923
		職員	社会保険料（事業主負担分）　249,618円 社会保険料（特別賞与分）　48,014円 雇用保険料（事業主負担分）　148,689円 雇用保険料（事業主負担分）　15,092円	
		パートタイマー パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の賃金である。　590,906円	
		パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の交通費である。　34,088円	
	前受収益	多摩のあゆみ定期送付申込者	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での、多摩のあゆみ定期送付受付時に発生する収入である。　1,372,054円	1,372,054
	賞与引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	1,270,000
流動負債合計				4,838,372
(固定負債)	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	6,380,000
固定負債合計				6,380,000
負債合計				11,218,372
正味財産				890,105,223

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

（単位:円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,510,000	1,270,000	1,510,000	0	1,270,000
退職給付引当金	5,830,000	550,000	0	0	6,380,000